

第 69 回定期総会 古屋範子衆議院総務委員長祝辞

全国町村議会議長会定期総会に当たりまして、衆議院総務委員会を代表して、一言、御祝いを申し上げます。

はじめに、地方自治の最前線で、町村議会運営の重責を担われ、地域の発展と住民福祉の向上のため、日夜、献身的な御努力を重ねておられる皆様に、深く感謝の意を表する次第であります。

また、本日、自治功労者及び優良な町村議会として表彰の栄誉を受けられました皆様に、心からお慶びを申し上げますとともに、多年にわたる御貢献に敬意を表したいと思います。

町村議会は、住民の代表機関として、町村長とともに、町村における適正な行政運営の確保に重要な役割を果たしてまいりました。さらに、近年は地方分権改革が進展し、都道府県から市町村への権限移譲や条例制定権の拡大の取組が進められたことに伴いまして、団体意思を決定し、執行機関を監視する機能を担う町村議会の役割が益々高まっております。

その一方で、町村議会では、選挙の際における投票率の低下や無投票当選割合の増加、更には、議員のなり手不足の深刻化など、様々な課題が指摘されております。皆様が、それらの課題を解決するために、日々、御努力を続けておられることに心より敬意を表します。私ども、衆議院総務委員会といたしましても、町村議会が抱える諸課題の解決に向け、皆様の御意見も踏まえつつ、必要な検討を進めて参る所存であります。

また、今日の町村に目を向けますと、少子高齢化や大都市圏への人口流出による人口減少が進んでいる半面で、町村の多くが、食料、水、エネルギーなどを都市に供給しているほか、ふるさとの景観、文化、風土の維持、国土の保全、災害や地球温暖化の防止といった全国民の生活にかかわる重要な役割を担っておられます。町村が、今後とも、これらの重要な役割を果たしつつ、地方創生の取組や、子ども・子育て支援などの重要課題に安心して取り組めるようにするためには、将来にわたり、地方交付税を始めとした一般財源の総額をしっかりと確保することが必要であります。衆議院総務委員会におきましても、地方交付税法改正案などの審査を通じまして、将来にわたって、地方が安心して財政運営を行うことができるよう、必要な安定財源の確保に尽力して参ります。

皆様方におかれましては、これまで培ってこられた豊かな御経験と御見識を活かされ、地域の発展のため、なお一層御尽力くださいますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の御健勝と益々の御活躍を心からお祈り申し上げまして、私の祝辞といたします。

平成 30 年 2 月 8 日

衆議院総務委員長 古屋 範子